

これまで日本の得意分野であった高い技術に基づく「ものづくり」が世界中で実施できるようになり、製造の国際展開が進んできています。さらには製造だけでなく、企画や開発においても国際競争が激化しています。わが国が持続的に発展し、国際社会において課題を先導して解決していくには、わが国において不断にイノベーションを創出していくことが不可欠で、単一の知識や科学・技術だけでなく様々な科学的技術的知識が統合できる人材が望まれています。技術は常に進化しており、技術者は常に新しい技術を知っていく必要があります。

ここでは、科学技術を支える人材の育成と活用場として学会活動にて実施されている「継続教育」にフォーカスします。様々な学協会が実施している人材育成の取り組みを紹介し、人材育成に責任を果たすべき学会の役割やこれから社会の出る学生と既に第一線で活躍している方の教育について議論します。

産業界、教育界など多くの技術者・研究者・教育者の方々にご参加いただき、意見交換を行う場となれば幸いです。

日時：平成24年10月26日 FRI 13:00~17:35

会場：工学院大学新宿キャンパス3階アーバンテックホール

◆ 継続教育の**実践**とその**課題** ◆

【基調講演】持続可能なイノベーション創出能力構築と人材育成：柘植綾夫
(日本工学会会長) / 【各学協会の工学教育取組み事例】I. 計測自動制御学会：SICE 続プロセス
塾の計画と実際：高津春男 (横河電機) / II. 電子情報通信学会：産学連携によるπ
型人材育成：鈴木忠道 (富士通研究所) / III. 精密工学会：精密工学会におけるア
リエイト制度：松村 隆 (東京電機大学) / IV. 自動車技術会：自動車技術会と企
業が模索する技術者育成活動とその課題：白石修士 (本田技術研究所) / V. 日本機
械学会：日本機械学会における工学教育活動の変遷・展開：久保司郎 (大阪大学)

定員：200名/参加費：事前申込・振込 主催学協会会員：2,500円 非会員：3,000円 (当日+500円)

主催申込先：日本工学教育協会 東京都港区芝 5-26-20 建築会館4階 (担当 川上)

Tel: 03-5442-1021, Fax: 03-5442-0241 <https://www.jsee.or.jp/>, kawakami@jsee.or.jp

共催：日本機械学会 (幹事) (以下五十音順) 化学工学会 (依頼中), 計測自動制御学会, 資源・素材学会, 自動車技術会, 情報処理学会, 精密工学会, 繊維学会 (依頼中), 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本化学会, 日本教育工学会, 日本金属学会, 日本経営工学会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本工学会, 日本設計工学会, 日本セラミックス協会, 日本鉄鋼協会/後援 (依頼予定)：文部科学省 経済産業省, 国土交通省, 厚生労働省, 日本学術会議/協賛 (依頼予定)：日刊工業新聞社, 日本工学アカデミー, フジサンケイビジネスアイ/特別共催：工学院大学 (依頼中)